

令和元年度

自主防災隊の取組みについて

相原町 陽田町会

自主防災隊

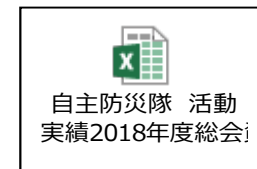
陽田町会自主防災隊名簿（総会資料）（2019年度）

役職	氏名	班	役職	氏名	班
隊長	原 義浩	4	隊員	小山 豊	3
副隊長	杉本 真克	10	隊員	杉森 昌樹	6
本部長	和田 聡一	8	隊員	鈴木 健一	9
副本部長	横溝 茂行	4	隊員	鈴木 寿幸	8
隊員	青木 哲司	10	隊員	鈴木 道子	8
隊員	上沢 義夫	1	隊員	中村 彰男	1
隊員	伊藤 大地	8	隊員	能澤 忠春	11
隊員	井上 春雄	2	隊員	平井ひとみ	1
隊員	上口 孝雄	8	隊員	三浦 一敏	10
隊員	上田 浩巳	4	隊員	森 徹	3
隊員	奥山 忠	11	隊員	吉川 時男	1
隊員	軽部 政峰	3	隊員	吉川 聡衛	1
隊員	北島 是人	9	隊員	小林 弘之	7
隊員	木暮 彰	1			

27名

- 自主的に活動に参加できるメンバーで構成
- メンバーが変わること無く、
災害時における共助の組織的活動を継続させています

自主防災隊



●活動実績 (2019年度総会資料から)

訓練	8回
整備	10回
会議	13回
催事	2回
事務手続	8回

- スタンドパイプ訓練
- 炊き出し訓練
- 祭礼での啓蒙活動
- 餅つき 炊き出し訓練
- どんど焼きの警戒など

スタンドパイプ

- 2017年度までにスタンドパイプ3台購入（町田市の助成金）
- 2018年10月 街頭に設置



令和元年度の試み

スマートフォンの
充電体制の確立

発電機



Hondaからの回答メ
ール20190210.doc

カセットガスで電気をつくる。

EU9iGB (エネポ)

折りたたみハンドル装備

メーカー希望小売価格(税込)

¥118,800

(消費税8%抜き ¥110,000)

定格出力 **900VA**

連続運転可能時間* 約**2.2~1.1h**

燃料容量 **500g**(カセットボンベ2本の容量)

乾燥質量 **19.5kg**



- 取扱いが容易
- 管理が容易
- 壊れにくい

- 50台くらいの
スマホを同時に
充電可能

発電機

・女性でも取扱いが容易



片手で操作できるハンドルロック解除ノブ



導入計画

合計 257,190 円

● 発電機 2 機：237,000 円（税込み）

一度に 100 台 のスマートフォン／携帯電話の充電を想定

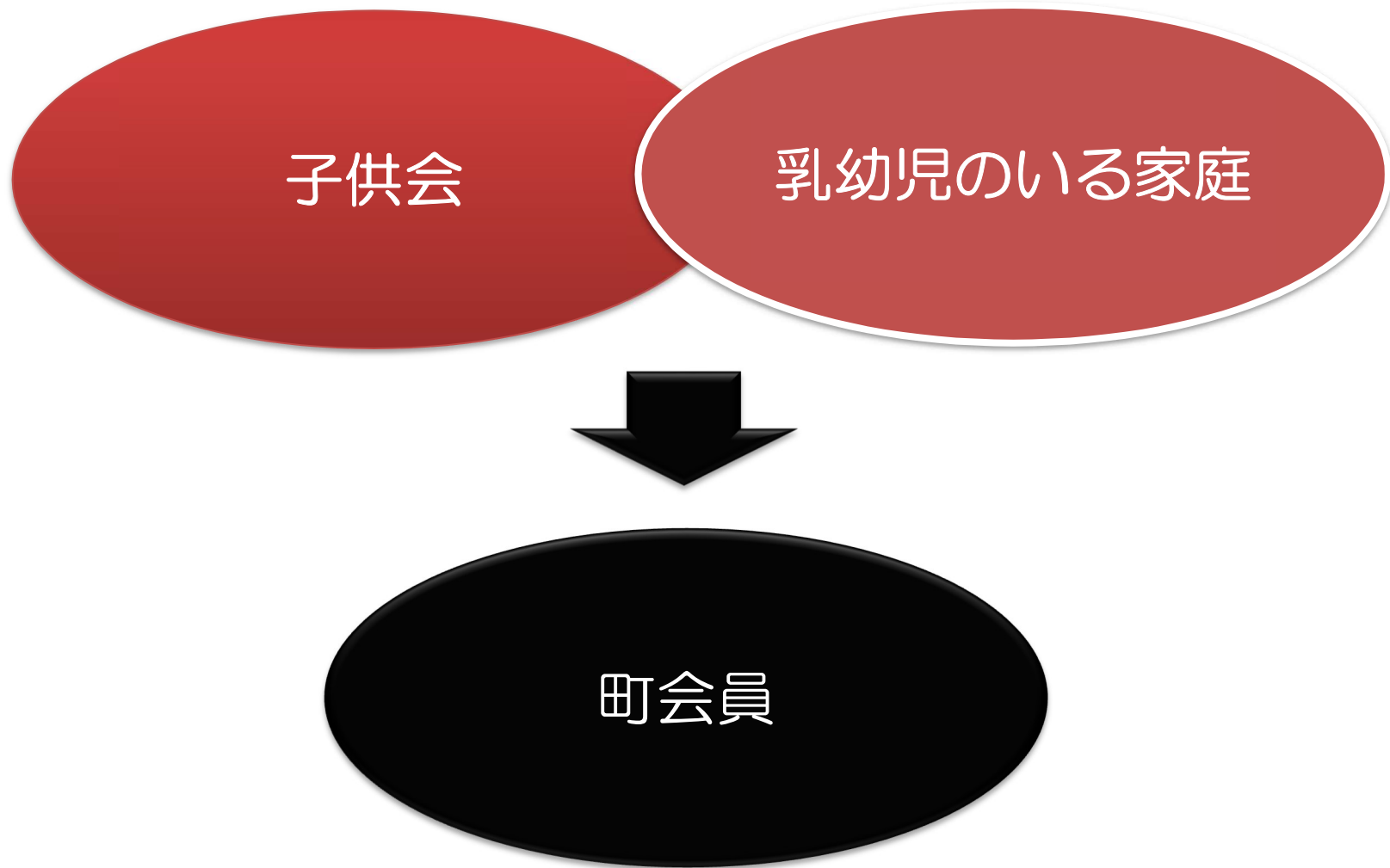
● カセットボンベ 108 本：20,190 円（税込み）

1 日 10 時間稼働で 4 日間 対応した場合、100 本必要

*カセットボンベ 100 本程度の管理問題なし ⇒ 東京消防庁西町田出張所に確認済

● 東京都 『地域の底力』 助成事業に応募 ⇒ 20 万円の助成

災害時の優先順位



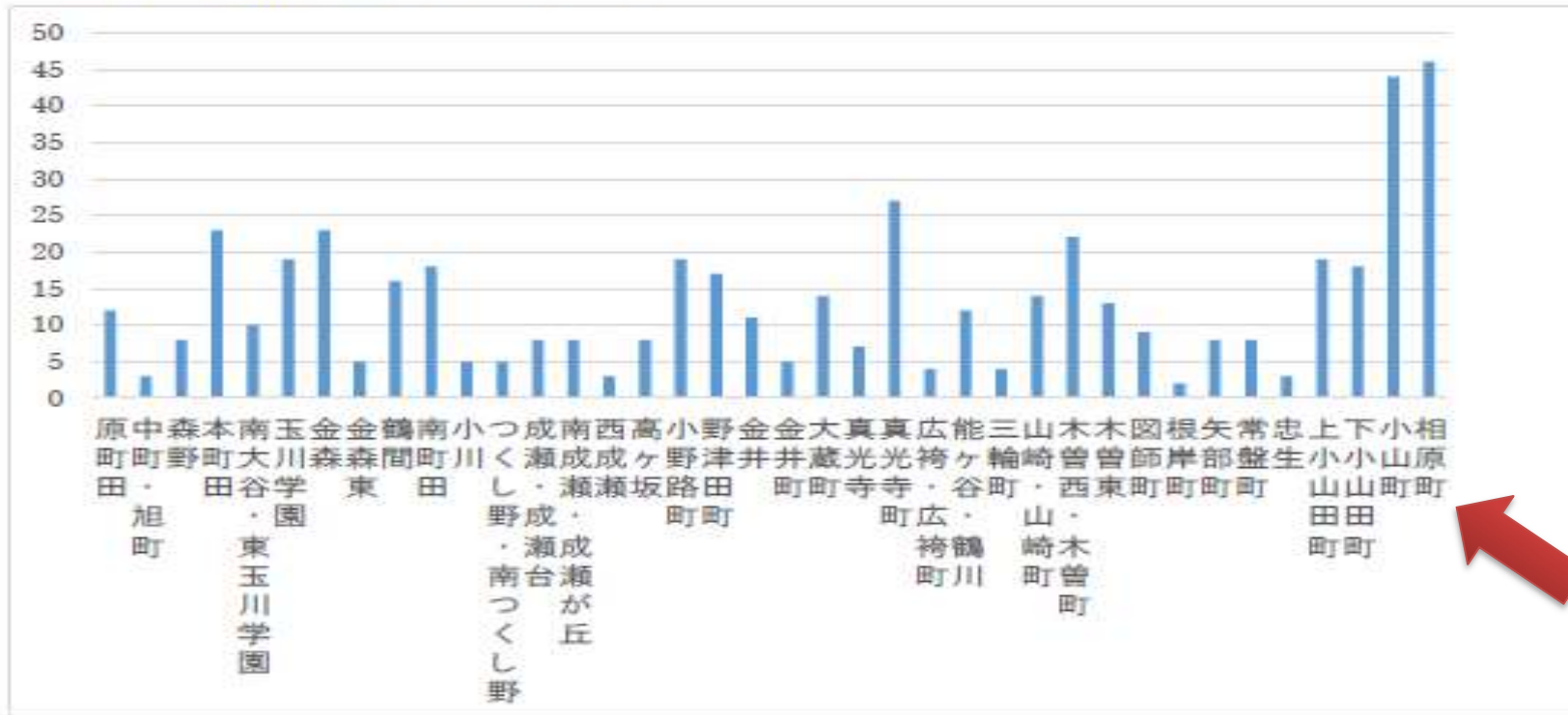
災害時対応の更なる試み

飲水・トイレ水の確保

水の確保

1 市内の井戸の登録数について

2018年2月末時点で、保健所に登録がある町田市内の飲用井戸の数は、500件です。相原町が最も多くなっています。



市内飲用井戸等設置数（2018年2月末現在）



町田市保健所

水の確保

飲用できる井戸の提供
所有者と災害時の協力

3軒の飲用井戸を確保

町会員へ飲水／トイレ水の提供

災害時の更なる安心を提供

陽田町会の体制

スマートフォンの充電

飲水・トイレ水の確保

スタンドパイプ